

令和3年度事業計画

株式会社 滋賀食肉市場

1 基本方針

滋賀県の食肉の生産および流通の拠点である滋賀食肉センターにおいて、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給する。

また、食肉の公正明朗な規格取引を推進することにより適正な卸売価格の形成に努め、価格の安定に資する。

2 事業計画

衛生品質管理技術の向上と業務運営体制の充実を図るとともに、引き続き経営の健全化に努める。

(1) と畜解体業務

と畜場法その他の関連法令等を遵守し、衛生的な処理と管理に努める。

令和3年度計画

牛と畜頭数 8,450頭（うち輸出用 563頭）

(2) 枝肉の受託販売

安定した牛枝肉の上場頭数の確保と買い受け人の増加に努めることにより、適正な価格形成を図り、信用の向上を目指す。

令和3年度計画

牛せり上場頭数 2,770頭

(3) 枝肉の冷蔵保管

温度管理を徹底し、品質の維持に努める。

(4) 部分肉の受託加工および冷蔵保管

枝肉から部分肉まで外気に触れることなく一貫して処理し、真空包装と冷蔵保管を行うことにより品質の維持を図り、信頼性の確保に努める。

令和3年度計画

部分肉加工頭数 983頭

(5) 経営改善に関する取組

センター開設以来続いていた単年度赤字については、平成27年度決算から黒字に転じたものの、依然として債務超過の状況は継続している。このため、令和3年度は、「(株)滋賀食肉市場経営改善計画」を踏まえて、引き続き業務の効率化と経費削減に努め、企業ガバナンスの強化など、更なる経営改善を進める。

収 支 見 込

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
受託販売手数料	244,243	248,000	△	3,757
と畜解体料	77,021	73,570		3,451
受取冷蔵保管料	14,118	13,360		758
自家割手数料	19,624	17,800		1,824
加工手数料	42,498	26,000		16,498
売上高計 (A)	397,504	378,730		18,774
2 販売費および一般管理費				
施設使用料	51,000	53,665	△	2,665
出荷奨励金	97,317	91,000		6,317
人件費	177,770	175,000		2,770
その他管理費	72,730	69,000		3,730
販売費および一般管理費計 (B)	398,817	388,665		10,152
3 営業利益 (C)=(A)-(B)	△ 1,313	△ 9,935		8,622
4 営業外収益				
受取補助金等	13,000	12,464		536
雑収入	15,104	7,503		7,601
営業外収益計 (D)	28,104	19,967		8,137
5 営業外費用				
支払利息	500	1,101	△	601
営業外費用計 (E)	500	1,101	△	601
6 経常利益 (F)=(C)+(D)-(E)	26,291	8,931		17,360
7 税引前当期純利益 (G)	26,291	8,931		17,360
8 法人税等 (H)	185	186	△	1
9 当期純利益 (I)=(G)-(H)	26,106	8,745		17,361

令和2年度事業報告

株式会社 滋賀食肉市場

1 事業概要

滋賀県の食肉の生産および流通の拠点である滋賀食肉センターにおいて、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給した。

また、食肉の公正明朗な規格取引を推進することにより適正な卸売価格の形成に努め、価格の安定を図った。

2 事業実績

衛生品質管理技術の向上と業務運営体制の充実を図るとともに、と畜解体技術の向上を図る対策に取り組むなど、業務改善や経営の健全化に努めた。

(1) と畜解体業務

と畜場法その他の関連法令等を遵守し、衛生的な処理と管理に努めた。

牛と畜頭数（うち輸出用）		
計画	8,250頭	（250頭）
実績	8,737頭	（399頭）

(2) 枝肉の受託販売

安定した牛枝肉の上場頭数の確保と買い受け人の増加に努め、適正な価格形成を図った。

牛せり上場頭数	
計画	2,710頭
実績	3,331頭

(3) 枝肉の冷蔵保管

温度管理を徹底し、品質の維持に努めた。

(4) 部分肉の受託加工および冷蔵保管

枝肉から部分肉まで外気に触れることなく一貫して処理し、真空包装と冷蔵保管を行うことにより品質の維持を図り、信頼性の高い製品づくりに努めた。

牛部分肉加工頭数	
計画	550.0頭
実績	830.5頭

(5) 経営改善に係る取組

牛と畜頭数は、計画頭数および前年度実績を上回った。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、滋賀食肉センターからの牛肉輸出が前年度実績を大きく下回ったことにより、牛部分肉加工手数料の売上が落ち込んだ一方、牛せり上場頭数が前年度実績を大きく上回ったことおよび牛と畜頭数が過去最高となったことから、受託販売手数料および畜解体料の売上が増加し、さらには、施設使用料等の経費縮減により、前年度に引き続き、単年度黒字を計上した。

損 益 計 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高		
受託販売手数料	269,590,454	
買付品売上高	300,614,065	
と畜解体料	80,859,617	
受取冷蔵保管料	14,039,349	
自家割手数料	18,453,600	
加工手数料	37,390,185	720,947,270
売 上 原 価		
買付品売上原価		300,614,065
売上総利益		420,333,205
販売費および一般管理費		
施設使用料	44,328,562	
出荷奨励金	96,322,741	
人件費	179,193,417	
その他管理費	62,622,699	382,467,419
営業利益		37,865,786
営業外収益		
受取利息	2,424	
受取配当金	2,500	
受取補助金等	12,433,500	
雑収入	7,495,992	19,934,416
営業外費用		
支払利息		986,722
経常利益		56,813,480
税引前当期純利益		56,813,480
法人税等		185,500
当期純利益		56,627,980

貸 借 対 照 表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	369,281,517	流 動 負 債	478,112,266
現 金 預 金	208,548,394	受 託 販 売 未 払 金	111,619,428
売 掛 金	119,235,923	短 期 借 入 金	240,000,000
未 収 入 金	34,418,994	施 設 未 払 費	89,636,390
未 収 収 益	7,000,078	未 払 費 用	18,917,303
立 替 金	297,800	未 払 法 人 税 等	185,500
仮 払 金	117,260	預 り 金	17,753,645
前 払 費 用	163,068	固 定 負 債	124,816,313
貸 倒 引 当 金	△ 500,000	長 期 借 入 金	58,986,313
固 定 資 産	10,678,372	受 取 保 証 金	65,830,000
有 形 固 定 資 産	635,434	負 債 合 計	602,928,579
建 物 附 属 設 備	113,546	(純 資 産 の 部)	
構 築 物	521,884	資 本 金	44,070,000
車 両 運 搬 具	1	資 本 金	44,070,000
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	3	利 益 剰 余 金	△ 267,038,690
投 資 そ の 他 資 産	10,042,938	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 267,038,690
出 資 金	100,000	(うち 当 期 純 利 益)	(56,627,980)
長 期 前 払 費 用	669,106		
開 設 者 預 託 保 証 金	8,973,832	純 資 産 合 計	△ 222,968,690
保 証 金	300,000		
資 産 合 計	379,959,889	負 債 ・ 純 資 産 合 計	379,959,889